

---

---

# 2020年度事業計画

---

---

(2020年4月1日～2021年3月31日)

---

## 概 況

---

2020年初頭からの世界的規模での感染症拡大により、日々の生活を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした状況の一日も早い収束と、その後の花による豊かな生活の復興を目指し、全国のフラワーデザイナーが一丸となり、花を通じて社会に貢献してまいる所存です。

本会は創立以来、フラワーデザインの普及、技術の向上、国際交流等を精力的に行ってまいりました。活動は半世紀を超え、人々の生活に少しずつ浸透してきています。ますます豊かな生活に寄与すべく、日本の文化、学術、芸術の発展のため、有益な事業を推進してまいります。

今期はNFDの改革のための具体的な指針を作り、さらなる組織改革を進めてまいります。昨年の総会で議論されました理事の任期についてですが、新体制にて新規会員獲得検討委員会、中長期ビジョン検討委員会を作り、理事の任期だけではなく、変化し続ける時代に合った新たなNFDへと変革するために、様々な角度から組織改革をはじめ、その一環として理事の任期についても検討していきたいと考えております。

これまでの半世紀を超える歴史を大切にす一方、劇的に変化する社会へ、花と暮らす喜びを伝えるために本会は大きな一歩を踏み出してまいります。この社会に対し、フラワーデザインが彩る、豊かな生活をますます普及できますよう、様々な取り組みを行います。

全国の盲学校等支援施設に通う方々に花に触れていただく「花の宅配便事業」は7年目となり、好評を得ながら事業として定着してまいりました。

ディプロマ事業は現在5つのコースが開かれております。2020年度は新たなコースとして、フラワーデザインの基本をあらためて習得、学習していただくためのベーシックマスターコースを設け、実施する予定です。

各コースのインストラクターにより、多くの一般の方々にもフラワーデザインに親しんでいただくコースとして、フラワーデザインのますますの普及に期待が寄せられています。

2021年度に延期となった東京オリンピック・パラリンピックへのビクトリーブーケ贈呈事業等も含め、今年度もフラワーデザインにより、様々な場面を支援するための事業を企画、参加してまいります。

なお、令和2年（2020年）度収支予算計画は事業計画をもとに作成し、2020年1月の第6回臨時理事会にて承認を受けているものです。その後の感染症の大流行により上半期の事業も延期や中止を余儀なくされておりますが、皆様からお預かりしている年会費を有効に生かすべく適切な予算執行に努めてまいります。

まずは皆様が健康で安全な日々を送られること、そしてどんな時代でも、人々の心がフラワーデザインとともに豊かになることを願い、本会運営に対する皆様のご理解、ご協力をお願いする次第です。様々な困難を、花とともに乗り越えましょう。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 井野口 守政

## 各部・委員会計画

### 部会

#### 総務部（花の図書委員会を含む）

いろいろな法改正や社会状況の変化に伴い協会運営に必要な諸規程の精査、必要に応じて改正案の検討を行います。他団体からの後援等申請、賞交付、審査員派遣申請に関する審査や、協会ロゴ入りオリジナル名刺受注、無料職業紹介事業も継続いたします。

しかしながら、2020年1月からの新型コロナウイルス感染症の大流行によって、事務所の一時閉鎖を余儀なくされたことにより、リモート会議やテレワーク等の環境整備を行いました。会員の皆様からの各種申請やお問い合わせ等に迅速な対応ができかねる状況が続くことも予測されますが、通信手段を駆使して諸処の問題解決に努めます。第58回定時総会も社員（代議員）の議決権を守りながら、会員の皆様、役職員の健康と安全を最優先とするべく、できるだけ書面による議決権行使をお願いしています。

花の図書委員会では、会報誌「フラワーデザイナー」の“本の虫”での蔵書紹介、協会サイトでの蔵書一覧、サービス概要の紹介を行います。宅配便による貸出、寄贈受付、花ファッションハウスでの閲覧サービスについては、感染症流行の収束状況に応じて再開します。

#### 財務部（助成運営委員会を含む）

公益社団法人として満たすべき財務上の3要件のうち、特に遊休財産の保有制限について注視し、理事会へ定期的に予算執行状況の報告を行うとともに、各関連部署での執行状況の把握が協会運営に活かせるような報告方法の検討を行います。

「NFD one leaf fund」は事業見直しのため募集を休止中です。助成金の目的や効果、事業の継続について引き続き検討していきます。

#### 会員組織部

今年度は支部総会を報告会に変更し開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、全て中止としました。

まだ、予断を許さぬ状況ではございますが、10月には全国53支部の支部長による「全国支部長会議」を開催する予定です。今後の情勢を踏まえ、実施の可否も含めた上で、開催方法の変更なども検討します。

「第20回全国障害者スポーツ大会」の花束制作は、10月23日～25日の3日間、鹿児島県で開催される予定ですが、無事開催となりました折には多くのボランティアの方の思いがこもった花束をお届けしたいと思えます。

公認校は地域社会とNFDを結ぶ重要な接点であり、フラワーデザイナー資格検定試験の実施だけでなく、フラワーデザインの普及や社会貢献活動の推進など大切な役割を担っています。そこで、公認校意見交換会を全国7ブロックにおいて開催し、各地域の声を吸い上げ、協会施策に生かします。ぜひ、皆様のご意見・ご要望、新しいアイデアなど、お聞かせください。本部、公認校とともに歩んでいける施策を検討してまいります。

#### 資格検定部

本部主催のフラワーデザイナー資格検定試験は、今年度は全国9会場で合計26回の実施予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大の影響で8月までに予定していた全ての回が講習会とともに9月以降に延期または中止となりました。変更後の日程は会報誌「フ

ラワーデザイナー」及びホームページにてお知らせいたします。

また今期より、幾何学形態のデザインを基にした過去の資格検定試験の内容からワイヤリングテクニックやテーピング、リボンワークなどの基礎技能を学ぶ、新規ディプロマ事業「ベーシックマスターコース」が開始され、随時インストラクター登録申請を受け付けています。

その他、資格検定試験の1級から3級全ての出題テーマの審査方法・審査ポイントを学ぶ「資格検定試験・審査研修会」、資格検定試験の級ごとのテーマをレクチャーと実習で身に付ける「指導者育成ゼミ」、コンテストの実践的な審査方法を学ぶ「コンテスト審査員研修会」、試験テーマをより深く掘り下げる「構成理論」、各種ディプロマコースの「インストラクター講習会」や「応用講習会」、「NFD 講師新規登録講習会」等を計画していますが、実施の可否等については、今後の状況により判断し、改めてお知らせいたします。

## 事業部

今年度は、講習会を厳選し、より魅力的な内容を取り揃えていきます。実習を伴わない講演は、これまでのように話を聞いて終わるのではなく、受講者が積極的に参加できるセミナー形式を予定しています。NFDが誇る内部講師の実習だけでなく、外部からも講師を招聘し、専門的な内容について学ぶ機会を提供します。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、自宅にいながら参加できるオンライン上でのライブ配信による講習会を企画しています。

その他、日本フラワーデザイン大賞2020は、令和の時代に相応しく「New Period」というテーマを掲げ、会場を横浜から新宿に移し、気持ちも新たに開催する予定でしたが、皆様の安全を考慮した結果、2021年度に延期といたしました。新たな日程が決定次第、改めて告知します。

併設事業として計画していた、「第17回NFD全国高校生フラワーデザインコンテスト」については、未来のフラワーデザイナーの輩出を目的に前回と同様のフォトコンテストとして1月頃に開催予定です。

## 広報部

会報誌「フラワーデザイナー」は前年度と同じく、偶数月に発行する予定です。人気の高かったフラワーサイエンスはWebに移行し、花クイズなどとともに、楽しめる知識ページを増やし、一般からの流動を図ります。新企画としては以前より好評だったインタビュー企画を復活。今各界で人気のスペシャリストの話を紹介します。

対外的な広報活動では、昨年度に引き続き、費用を最小限に抑えながらもPRできる方法を中心にNFDの認知度向上を計画。前年度より着手したホームページのリニューアルを実施し、アクセス数を伸ばし続けられるよう、取り組んでまいります。

今年度は、首都東京での「日本フラワーデザイン大賞2020」開催を最大の広報機会と捉え、全国の支部や公認校の活動を広く伝えるため、NFDブースの設置を計画しました。延期決定と同時に、Web上の広報へと重点を切り替えました。各部署と連携しながら、インスタグラム等を駆使し、一般の方にも手軽にできるデザインの動画配信や、会員の皆様から集まった作品の掲載、Webに特化した企画なども盛り込んだ新しいコンテンツなど、引き続き、次につながる新たな広報に取り組んでいます。

## 委員会

### 国際交流委員会

今年度は、2021年3月14日～24日にニュージーランドにて「WAFI インターナシヨ

ナルセミナー」の開催が予定されていますが、新型コロナウイルスの世界的流行を受けた当事国政府・組織の対応の動向を伺いながら参加の可否を判断していきます。台湾花芸家協会との交流活動についても同様です。

また、中国在住の会員を対象とした事業も計画していますが、国内の本部事業と同様にその時点での国内外の社会状況を考慮して実施の判断を行います。

### **花とともに委員会**

2021年度の東京オリンピック・パラリンピックに向けてフラワーデザインによる支援ができるよう進めていきます。また、これに関連し、パラリンピックサポートセンターを中心とした日本国内でのパラスポーツ大会の表彰式で使用するビクトリーブーケの贈呈を引き続き行います。

「花の宅配便事業」は、7年目となり、例年実施されている学校では年間行事と定着してきています。まだ実施されていない学校へはこの事業の目的や実績をご理解いただき実施実現を目指したいと思えます。ボランティアに関しましても多くの方にご登録いただけるように案内を積極的に行なっていきます。多くの生徒の皆様に、この事業をきっかけとして花のある暮らしの楽しさを感じていただけるよう、各種特別支援学校や社会福祉施設を対象に継続的に事業を実施します。

「NFD花の日」事業は、個人での実施が主体となっていますが、今後は団体などでも活動できるようにするなど、様々な形で全国の施設へフラワーデザインの楽しさをお届けできるように検討を重ねます。

新型コロナウイルスの流行で学校の休校も長期化する中、心理的ストレスを抱える児童や生徒が少なくないため、会員が積極的に関われるような、フラワーデザインによる新たな社会貢献事業を検討しています。

### **資格検定試験基準改正委員会**

フラワーデザイナー資格検定試験の公正性、妥当性を常に検証してまいります。また、前期から引き継ぎの「NFDラボラトリー(仮)」について継続検討し、NFDが今まで培ってきた技術や理論の継承及びさらなる発展を目指します。

### **花ファッション委員会**

花ファッショントレンド2020のテーマは「異文化の融合」。ウエスタンスタイル、ヨーロッパアンデザイン、和のデザインやフォークロア(古くから伝わる風習・伝承)など、様々な異文化を融合させた新しいデザインの創造を提案します。

引き続き広報部とも連携し、会報誌「フラワーデザイナー」誌上の“花ファッショントレンド Arts & Crafts”のほか、NFDホームページの「花ファッショントレンド通信」、「シーズナルレッスン」はクリスマスとスプリングを実施し(実施可否は都度判断します)、トレンドの発信を行います。

### **花検定委員会**

花検定の実施に向けて、植物への関心を喚起するような施策を検討、実施し、分析を行います。ホームページやSNSを活用し、植物の面白さや奥深さを広く一般の方へ伝え、また、皆様の関心や反響などを参考にして、新たな試験制度への検討を重ねていきます。

### **デジタルPR委員会**

花やフラワーデザインの普及を目的とし、一般の方がより花に親しみを感じていただけるような情報をSNSやメールマガジンで配信します。SNS特有の親しみ感のある軽いタッチで、タイムリーな情報を積極的に発信するとともに、活動の自粛を求められる中でも、花に触れ合ったり、花を愛する皆様で交流したりできるような企画も各部署と連携し行っていきます。

### **コンプライアンス委員会**

法令・内部規程等の遵守を徹底できるよう委員会で検討し、協会事業を公正かつ適正に運営し、社会的信用の維持・向上に努めます。